

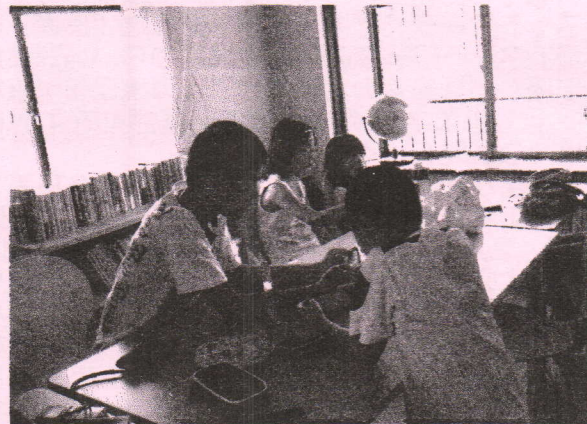
第17号
平成20年8月10日
発行
「市民活動情報紙
なると」編集委員会

市民活動 情報紙なると

鳴門市ボランティア
連絡協議会
☎685-7170
鳴門市市民活動
支援センター
☎684-0655



コミュニティはうすTSUDO I



生涯学習ルーム

「コミュニティはうすTSUDO I」2階にボランティアグループ・子どもから高齢者・子育て中の両親の交流、自立した市民をめざす方の生涯学習の場所がオープンし、活動しています。

「夏の花へんろ事業」ご協力に感謝します

花街道・地域づくりネットワーク
事務局代行 村元信江

○花へんろ「ハマボウ祭り」ご苦労様でした
各地のハマボウ群生地は年々立派な地域資源に育っています。早くから育ててくださった先輩のおかげ、守ってくださる有志のおかげ。ありがとうございます。

〈ハマボウ交流・接待所〉

下草刈りにイベント準備に、汗だくでお世話される方々のおかげです。少ない予算の中、みなそれぞれに工夫を凝らし、協力して精いっぱい地域を盛上げておられるお姿に心を打たれました。

○花へんろ「ヒマワリ祭り」ご苦労様でした。

県の花へんろ事業として今年で2年目秋のコスモスとの兼ね合い等、試行錯誤の年でしたが「来年はこうしたら」と、現実的で前向きのご意見をありがとうございました。

鳴門市のため、地域のために思えばこそ心からお礼を申し上げます。

〈ヒマワリ交流・接待所〉

今年からハマボウ、ヒマワリ祭り交流接待所を同時開催したところが多く、市長さんもお忙しい中各地に駆けつけて労ってくださり、集まった皆さんもヒマワリに負けない笑顔の地域づくり交流・接待所でした。

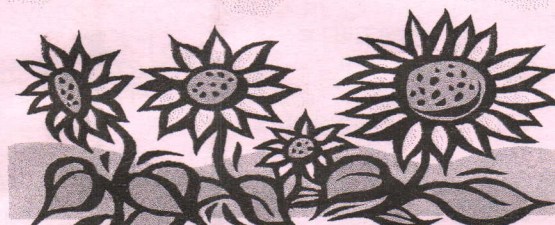
○花へんろ「花街道づくり」ありがとうございます。

早朝の街を走るとあちこちに街路の手入れをする人を見掛けます。始業前の10分間、毎日作業する企業も次第に増えてきました。

こうして、最近、市内がだんだんきれいになってきています。ありがとうございます。

「車からよう見えるところやけん、ほっとけん」と。地域大事、観光鳴門市大事と動いてくれる市民の心意気に応えたいものです。

地域産業の見事な「蓮」に感動しながら、地域や鳴門市のために少しでも貢献したいと思う官民が増えてくれることを心から願わずにはいられませんでした。



私たちの活動紹介

NPO法人環境とくしまネットワーク
理事長 島田 公

私たち、特定非営利活動法人「環境とくしまネットワーク」では、前身であった「環境+建築」ネットワークの活動の展開から、地球環境に優しい徳島での活動として、環境保護・森林保全・省エネ推進・消費者保護活動を中心に様々な展開をしています。

大まかな活動紹介としては、1月26日第3回省エネ共和国地域サミット（徳島市内にて開催）、2月2、3日2008年エネ博IN四国・徳島大会（アスティとくしま）においては徳島では唯一、環境NPO団体として参加、エコハウスの展示やレジ袋削減に向けての本格的な風呂敷普及活動の展示もさせていただきました。この風呂敷普及活動はその後数回の講習会やラジオ番組への出演など短時間ではありませんが、現在、徳島においては風呂敷普及活動ではNPO法人活動の分野では第一人者としての様々な展開をしています。

また、上勝町では高丸山・千年の森づくりを5年前より天然ブナ林の再生事業ボランティアに参加、今年度よりは椋原・棚田での米作りや、近隣の古民家再利用プロジェクトとして環境教育体験の家「環ON」を整備し、数々のセミナーを企画運営しています。6月21日には環境省参加事業として、チームマイナス6%協賛のブラックイルミネーションイベント「小夜の上勝、竹灯り」を開催しました。

8月5日には、先に開催されましたところの北海道河爺湖G8サミットの地球温暖化防止に向けての報告会として、西日本では唯一



風呂敷包み

徳島での開催「G8サミット報告会」を2008G8サミットNGOフォーラム環境ユニット事務局と協力し、アスティとくしま第6会議室にて、開催します。その後は9月7日には、「徳島の海をキレイに支隊」海岸清掃ボランティア活動を徳島県・鳴門市との協力のもと、（鳴門市亀浦漁港本港海岸地区）にて開催します。

私たちの団体の活動は、全ての地球環境に繋がるが為の大切な行動であり、基本であると考えています。近年、地球が想像以上に以前の自然や環境維持が出来なくなりました。私たちの環境活動も四国では唯一市民団体として、「とくしま地球温暖化対策協議会」を昨年設立し、環境省認証登録しています。地球の自然や生態系の崩れというものは、全て我々人間の経済成長に伴う便利で贅沢な生活を発展させたものであって、地球温暖化防止というもの自身も、皆、本来の自然ではなく、我々人間のことです。私たち人間一人一人の考えや大切な前向きな活動を頑張って普及推進できれば嬉しく思っています。

mini れすぱいと

NPO法人 mini れすぱいと理事長 山本とし子

法人名の「れすぱいと」とは、休息という意味です。知的障害児（者）が休日一人でもうまく過ごすことは、なかなか難しいことなのです。又、それによって親の負担も大きいものがあります。発起の源は、休日親も一息つけ、本人自身が楽しかったと思える時間を持つことができればというところでした。

鳴門市心身障害児（者）在宅介護等支援事業の実施を受け、活動を始めたのが7年前です。法人化し、5年目を迎えることができました。

普段の活動は、共に行動してくれるトレーナーさんと、利用者をマッチングします。利用者が抱える問題は個々に違うので、全員が同じ活動というわけにはいきません。ボーリング、カラオケボックス、散策、買い物等利用者のリクエストも聴いて、スケジュールを組みます。親子で行くのとでは違う楽しさ、充実感を感じてくれているようです。

年に1回、知的障害児（者）ボランティア講座「やるじゃ」知的障害児（者）の眼鏡になろう！を行っています。どんな手助けが必要かわかりにくい障害を広く理解してもらおうのが目的です。



ボーリング場にて

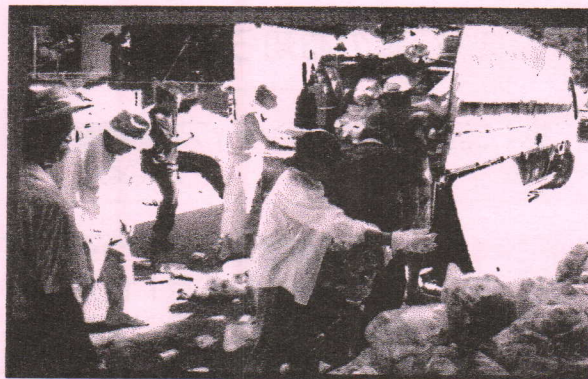
現在、運営委員の能力的な問題で、活動の輪を大きくするのは難しいのですが、うれしい変化が見られるようになりました。集合場所の駅で、私たちの存在が当たり前のこととして受け入れられ、領収書発行の際、何も言わなくても、メンバーの顔を見るだけで、法人名を記入してくれます。ボーリング場、カラオケボックス側も、利用しやすい環境を整えてくださるようになりました。年月を経ても、子供の成長と共に、悩みや不安は、形が変わるだけです。微力ながらも寄り添っていけたらと願っております。

安全で美しい街づくり

桑島地区自治振興会

当自治振興会では桑島小学校、同PTAと協働で「桑島子供見守り隊」を結成し、児童の登下校時を中心に、不審者の対策と交通事故防止に努めております。桑島地区内の道路は道幅が狭く、くねくね曲がった道が多いにもかかわらず、最近スピードを落とさず通り抜ける車がかかり見受けられます。そういう事情をふまえて制服（夏はたすきがけ）、制帽を付けてパトロールする事により少しでも事件、事故の抑止力に役立てればと頑張っております。

それと資源ゴミ（空き缶、古新聞等）の回収に努めております。月に一度年間12回（内3回は子供会）第4日曜日にしております。会員皆さん方の協力により約10年続いて来ました。振り返ってみれば、リサイクルに役立てばエコライフにつながるかなと軽い気持ちで始めたことが10年間も続いた理由かもしれません。しかし、始めた頃は大変な事もありました。弁当殻、乾電池、空き缶の中に煙草の吸い殻、水も一緒に入れており残飯が腐って何とも言えぬ匂いに悩まされた事もありました。多分通りすがりの人が投げ捨てて行ったものだと考えられます。また雨の日は中止しますと取り決めてあるにもかかわらず、雨の降る前日から出されていたらしく、当日の朝見回りに



資源ごみの回収

行ったらずぶ濡れの古新聞、ダンボールがあり、その処理に泣かされた事もありました。これも地区外の人が持ち込んだものであろうと聞いております。

その都度回収板を回したり、回収の手伝いをして頂く事により空き缶の分別とか古新聞、ダンボールのくくり方がわかり、最近ではマナーの悪い出し方をする人も無くなりました。この回収事業は今後長く続けていく事ができそうです。続行する事により少しでもリサイクルに役立ち、エコライフと地区の美化にもつながっていくものと自負しております。

桑島地区自治振興会では、地区社協、自主防災組織と協働して安全で、美しく、住みよい街づくりを目指して活動を続けていきます。今後共変わらぬご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

人と心を繋ぎ顔晴れる

未来の子どもを守るかい

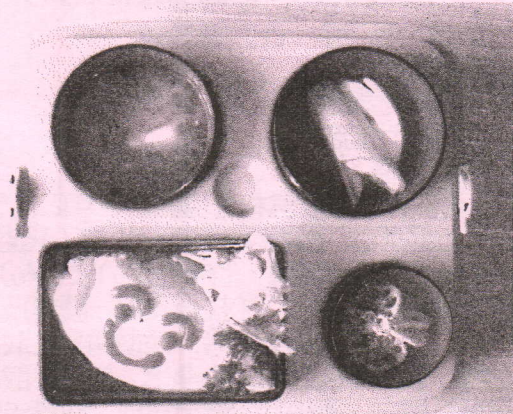
代表 川村俊子

「未来の子どもを守る会」は、地球の健康と心の健康を大切に「できることから始めんかい」ということで、1998年5月に誕生しました。共助の意識が育った温かい地域づくり、社会問題に対応できる知恵と行動力のある仲間づくりをテーマに参加制で活動を続けており、現在は「未来の子どもを守るかい」に改名して活動しております。

活動場所は「優しさの中で元気になり快く（自分らしく、楽しく）居られる学び舎」優元快舎（ゆうげんかいしゃ）とこちゃんKUです。

この書面を借りて代表する活動を2つ簡単に紹介させていただきます。

「みんなの手『喜来輪』」は、独居高齢者へ温かいご飯と味噌汁、旬の食材を使った家庭的な昼食を毎週水曜日と金曜日に配達しています。調理、配達、食材ボランティアの「できること、できるとき、できるだけ」を繋ぎ、心温まる活動ができています。また、ボランティアの方を募っておりますので、ご協力をお願いします。



昼食

環境改善活動の「ごみ減らし隊」は、貴重な石油資源の節約と、ごみ減量（処理費用、CO2削減）環境にやさしいライフスタイルへの転換のきっかけになるよう、マイバッグ持参運動をユニークに進めています。市内の保育園児、中学生、住民のボランティアを繋ぎ、お助け袋やデポジットバックを作り、毎月第2・第4土曜日の午前9時半から3時間「レジ袋ないでー（DAY）」と名付け、レジ袋を出さないという協力量販店や公的機関とマイバッグ持参啓発を進めています。店頭での呼びかけボランティア募集中です。

スーパーやコンビニで当たり前のようにもらってしまうレジ袋は本当に必要なのかを今一度みんなで見直してみませんか。

行事のお知らせ

第10回精神保健ボランティア市民講座 in なんと

精神保健ボランティアうずっこ
【と き】 9月 4日 (木)・9月11日 (木)
9月18日 (木)・9月25日 (木)
いずれも13時30分~15時30分
参加できる日を選んでお気軽にご参加ください
(全日程修了者は終了証書受与)

【ところ】 鳴門市老人福祉センター2F会議室

【定員】 20名

【受講料】 無料

【締切り】 9月1日 (月)

【申込み&問合せ先】

鳴門市社会福祉協議会 (担当 三木)

☎088-685-7170

助成金の紹介

第12回「地球倫理推進賞」

◇応募部門

①国際活動部門

②国内活動部門

◇応募資格

当該の活動が営利を目的とせず、5年以上継続し、顕著な実績をあげている団体または個人 (自薦・他薦を問いません)

- 1地球開発 住民への技術支援、農業技術指導、人道支援等、地域開発に取り組む
- 2環境 自然環境の浄化、美化に取り組む
- 3教育 青少年の健全育成、教育支援に取り組む
- 4文化 文化の継承や発展に寄与
- 5医療 医療分野における大小の支援活動、技術開発、革新の実現
- 6その他 上記に該当しないものの地球倫理の理念に叶った活動をしている

◇表彰 各部門の受賞者には賞状並びに活動援助金 (100万円) 贈呈

◇応募締切り

平成20年9月30日 (火) 当日消印有効

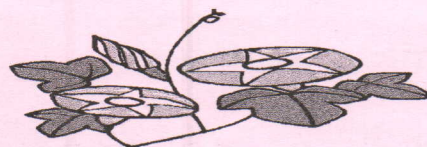
◇応募先&問合せ先

東京都千代田区三崎町3-1-10

(社) 倫理研究所「地球倫理推進賞」事務局

☎03-3264-2279

FAX03-3264-7881



年賀寄附金助成

◇助成対象事業

- 1) 一般プログラム
- 2) チャレンジプログラム
- 3) 施設改修
- 4) 機器購入
- 5) 車両購入

◇助成対象団体

- (1) 社会福祉法人
- (2) 更生保護法人
- (3) 社団法人
- (4) 財団法人
- (5) 特定非営利活動法人

◇事業分野

- 1) 社会福祉の増進を目的とする事業
- 2) 風水害、震災等非常災害による被災者の救助又はこれらの災害の予防を行う事業
- 3) がん、結核、小児まひその他特殊な疾病の学術的研究、治療又は予防を行う事業
- 4) 原子爆弾の被爆者に対する治療その他の援助を行う事業
- 5) 交通事故の発生若しくは水難に際しての人命の応急的な救助又は交通事故の発生若しくは水難の防止を行う事業
- 6) 文化財の保護を行う事業
- 7) 青少年の健全な育成のための社会教育を行う事業
- 8) 健康の保持増進を図るためにするスポーツの振興のための事業
- 9) 開発途上にある海外の地域からの留学生又は研修生の援護を行う事業
- 10) 地域環境の保全 (本邦と本邦以外の地域にまたがって広範囲かつ大規模に生ずる環境の変化に係る環境の保全をいう) を図るために行う事業

◇助成金額

一般プログラムは50万円を超え500万円まで (単年度)
チャレンジプログラムは上限50万円まで (4年間の継続受給可。毎年申請の上、審査を受ける)
それ以外については上限500万円まで (単年度)

◇申請書の受付

10月~11月

◇申し込み先

郵便事業株式会社 経営企画部

年賀寄附金事務局

☎03-3504-4401

FAX03-3592-7620